

## 分野推進戦略の調査・検討状況（案）

ライフサイエンス分野

## 1. 分野の状況

21世紀は「生命の世紀」といわれる。我が国はゲノム解析で出遅れたが、SNPs やタンパク質など先端研究開発に取り組みを集中しつつあり、ポストゲノム研究および産業応用での巻き返しをねらう。

## 2. 重点化の考え方

少子高齢社会において健康寿命の延伸を目指すとともに、新規産業振興を含め産業競争力の強化を実現し、研究成果の社会への還元を加速する。

高齢者に多い疾病の予防・治療技術の開発

<ゲノム多型解析によるテーラーメイド医療の実現を進展 / タンパク質構造・機能解析による創薬開発の加速 / 機能性食品や診断技術の開発による予防技術の高度化等>

物質生産および食料・環境への対応のための技術開発

<極限環境微生物利用 / 環境汚染物質の生物分解 / 環境ストレス耐性植物 等>

萌芽的・融合的技術を用いた先端解析技術の開発

<バイオインフォマティクス、システム生物学、ナノバイオロジー、計算科学 等>

先端研究成果を社会に還元する制度・体制の構築

<先端医療の臨床応用、GMOの安全性、知的財産権確保、生命倫理等に関する制度・体制の整備>